

ちよつといし話

～ 曼茶羅 ～

いよいよ平成 19 年も暮れて往こうとしています。そこで、一年の締め括りをしなくてはと思います。当山に於きましては開基以来の諸上人、大和尚の追善供養を 11 月 17 日に厳修する事ができました。念願が叶い真に有り難い事です。願う希望が叶った、と言う事は諸事万端皆々様の御尽力に感謝するしか御座いません。この世は果てしない苦しみと、限りない悩みに包まれています。その中で満願成就させて戴けるのは神佛のおかげ大なるものがあつたればこそだと思います。人生は一つ一つの節が積み重なり各人の生涯を築きあげます。気の遠くなるような長い人生を送られる方、あるいはあつと言う間の人生の方、色々です。

空海大師の「いろはうた」ではないですが香りがする、香りが出せる間が花です。我々の生活は背中合わせの危険な橋を渡っている状況にあると思います。そこに釈尊は無常を感じ取られ、出家されたのでしょう。我々は諸佛、諸菩薩の慈悲を感じ、人間の愚かさを知り、逃れる事の出来ない苦界、寂滅を安楽の国に求め、浄土曼茶羅に描かれている世界に落ち着きたいと思うのでしょう。しかし曼茶羅に描かれた世界から放り出された三悪道（地獄・餓鬼・畜生）の世界に墮ちる人々も沢山みえるに違いありません。

例えば、自分で自分の苦しみから逃れるために死を選択して自殺をする人、年間3万人を超しているそうです。まさに地獄の苦しみでしょう。殺す原因を作り、結果的に殺人を犯した人は逆に7度生まれ変わっても殺される方に廻るそうです。即ち、自分のやった事は必ず自分に、そのまま返ってきます。佛様の教えによれば、事の善悪は三業によってつくられます。

三業とは身と口と意（心）の三つが重なり合って引き起こされる動作です。私達が作ってしまった罪から逃れる為には懺悔する道しかありません。「我昔所造諸悪業・・一切我今皆懺悔」と、今年やってしまった事は今年の内には懺悔してしまい、お念仏の世界に浸りましょう。実を結べば佛様の出現に会えるでしょう。佛の出現には曼陀羅華を降らすとあります。とても良い香りの花が降って来るそうです。信仰に希望を持って、皆様と共に福德円満なる良い年を迎えましょう。連 連